



前期選抜願書の下書きをします!

本日、公立高校前期選抜を受検する人に、『練習用願書』を渡します。担任の先生の説明を聞き、また「令和3年度京都府公立高等学校全日制課程入学案内」を見て、正確に下書きをしてください。点検後、18日（月）に正式な願書と受検料を入れる封筒を渡します。



願書記入の注意!

- ※以外の欄に、はっきりと黒ボールペンで記入する。（サインペンではにじむことがあります
フリクションペンは×）
- 文字は楷書で、ていねいに記入する。（丸字や読めない字を書かないように）
- 記入を間違えた場合は二重線で間違えた部分を消す。絶対に修正液や修正テープを使わない。
- [在学（出身）中学校名]は、『京都市立九条中学校』とする。
- [志願者住所]は住民基本台帳等のとおり正しく記入する。
[氏名]は住民基本台帳等のとおり正しく記入する。
[保護者住所]は、志願者と同じ住所なら『志願者に同じ』と記入する。
- [志願者との関係]欄は、『父』または『母』のように記入する。
- 記入年月日は、令和3年1月26日にしてください。
- 保護者氏名欄を保護者が自筆で書かれた場合は、印鑑(ハンコ)を押す必要はありません。また、訂正する場合も訂正印は不需要です。ただし、保護者の自筆であっても印鑑(ハンコ)を押してあれば、訂正する場合訂正印が必要です。『印鑑』は必ず朱肉を使って、しっかりと押す（シャチハタ類は使わない）。印鑑はできる限り認印にして下さい。実印や家から持ち出すことができないようなものは避けて下さい。なお、府立高校を志願している生徒は、同じ印鑑で京都府収入証紙の割り印をします。
- 願書を提出する高等学校長の欄は府立高校なら府を、市立高校なら市を○で囲む。
その後ろに高等学校名を記入する。校名が長いときは二段に分けて記入する。
- [課程名]欄は、全日制の場合は『全日制』、定時制の場合は『定時制』を○で囲む。
- [学校名]欄は、校名だけを記入する。（例えば、『日吉ヶ丘』、『桃山』など）
- [学科名]欄は、自分が志望する学科名（例えば、『普通』とか『起業創造』など）を記入する。
※京都工学院は〔系統等〕も記入してください。
- [選抜方式（型）名]欄は、『○方式△型』と記入する。（前期選抜実施要項を見て、正確に記入してください。）
- 記入方法が不明なところは空欄のままにして、先生に質問しましょう。

郵送出願が始まりました！

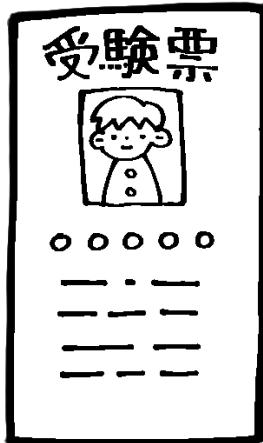


高校名	出願日
京都産業大学附属	1月15日（金）
京都両洋	1月18日（月）
洛陽総合	1月18日（月）
大谷	1月21日（木）
京都外大西	1月21日（木）
京都学園	1月21日（木）
龍谷大学付属平安	1月21日（木）
洛南	1月21日（木）
京都文教	1月21日（木）
京都橘	1月21日（木）
ノートルダム	1月21日（木）
京都聖カタリナ	1月21日（木）
京都精華	1月25日（月）



早い学校では、今日から郵送出願が始まっています。それぞれの高校で決められている出願期間の早い段階で出願します。終学活終了後、その日に郵送出願をする人は終学活・清掃後すぐに学習室に集まってください。各自でもう一度願書を点検してから、郵便局に行ってもらいます。各高校によって、出願書類の重さ、速達か普通か、書留か簡易書留など郵送方法の違いがありますので、料金が違います。したがって念のため、各自1,000円を持ってきてください。（料金が1,000円以上になることはありません。ただし、龍谷大学付属平安高校を受験する人は郵送代は必要ありません。）

郵便局で手続きが終われば、学校に戻り郵送出願が終わったことを報告してください。その時に下のような「高校出願報告書」を渡しますので、受験票が家に届いたら、受験番号などを記入し、担任の先生にすみやかに提出してください。



高校出願報告書		
○受験する学校..	_____高校..	
○学科・コース..	_____	
○投函した日..	月 日 () ..	
○受験番号..	_____	
○受験日..	月 日 () ..	
(2回受験の場合)..	月 日 () ..	
○面接日(ない場合は無記入)..	月 日 () .. 時から..	
3年	組	番
氏名..		

*受験票が届いたら、すみやかに担任の先生に報告してください。

たくさんの新しい問題集に手をだすのはNG！

最後の追い込み！とばかりに新しい問題集を大量に買ってしまうと、「やり終えていない問題が、まだこんなにも残っている！」というあせりを自分自身でつくりだしてしまうことになってしまいます。十分に、じっくりこなせる量の問題集だけに手をつけましょう。また、新しい問題集には手を出さず、使いなれた問題集を繰り返し解くことで、弱点を克服することもできますよ。ただし、過去の入試問題集は別です。高校ごとに、出題される内容に特色があります。入試当日に焦らないように、それぞれの高校の入試問題に慣れておきましょう。過去の入試問題集には、問題の傾向や解説も載っています。購入して何度も繰り返し解くと、力がつきますよ。

